



チケット for LINE
Hybrid



スポーツ系
法人編

イベント業務が**楽**になる！
クラウド型チケットシステム

導	入	成	功	事	例
---	---	---	---	---	---

Agenda

オンラインチケットシステムの概要	P.3
チケット管理のオンライン化における不安	P.4
チケット管理のオンライン化を成功させる2つのポイント	P.5
クラウド型チケットシステム導入の成功事例公開	P.6
LINEで簡単にチケットの販売管理ができるチケットfor LINE Hybrid	P.14
チケットfor LINE Hybridをもっと知りたい方へ	P.15

オンラインチケットシステムとは？

- イベントの告知から参加者の管理、終了後の分析まで効率化するイベント管理システム。
- 多岐にわたって作業が発生するイベントやセミナーをサポートしてくれる利便性の高さから、ニーズは多く、システムのリリース数も増えている。

主な機能

- イベント告知機能（告知ページ作成機能）
- 予約・アンケート機能
- 参加者管理機能
- 受付補助機能（QRコード、バーコード）
- 成果分析機能

チケット管理のオンライン化における不安

デジタルになれていない顧客
が離れてしまうのでは？



システムの操作が複雑で
顧客にも現場の従業員にも
負担をかけてしまうのでは？



マーケティングの強化も
考えるとコストがどんどん
膨らんでいきそう……



1

ボディビル・フィットネス 連盟様



作業負担軽減による
運営/報告書作成の効率化が実現

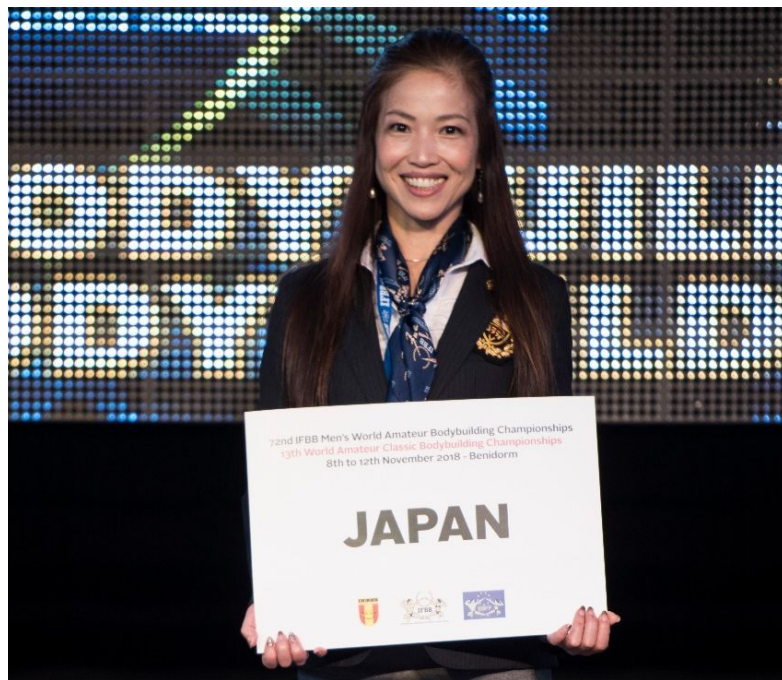
2

一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ様



足元の課題を解決し、
PR施策の着手へ

ボディビル・フィットネス連盟様



事業内容

大会運営に加え、選手・役員・審査員を対象にした勉強会も実施

導入前の課題

申し込みを現金書留で行っていて、送る側も受け取る側も作業負担があった

成功事例1

Before

選手は、加盟ジムか大会実行委員会に連絡を入れ、申込みを現金書留で行っていた

- 選手： 書留は封筒代や手数料も高く申し込む作業に時間と手間もかかる
- スタッフ： 選手名簿、申込書、入金や帳簿の管理や更新作業などの業務負担が大きい

After

電子チケット販売をスタート、
運営・報告書作成の効率化

入場者数も入金数も一瞬で分かるので、
照らし合わせも問題なくすぐに報告書ができた。

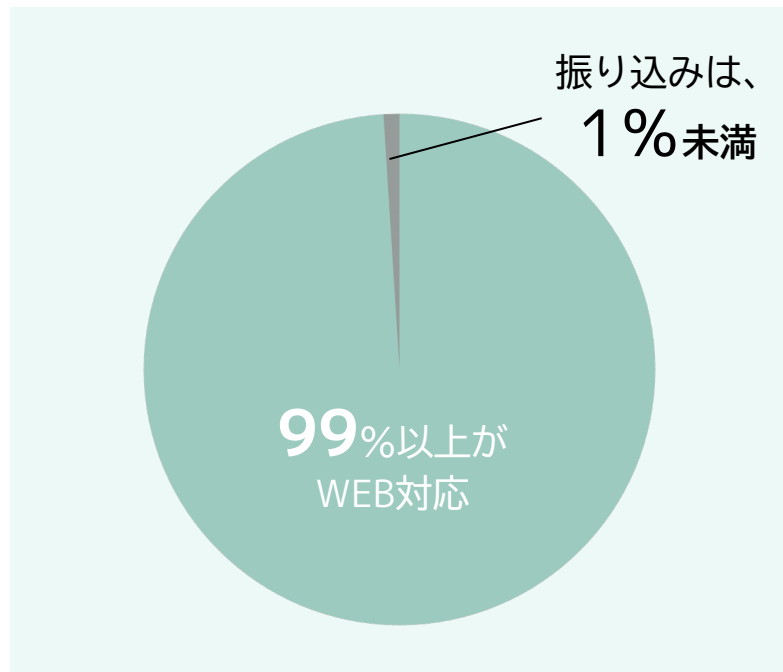
➡ 今まで週数間かかっていた業務が
効率化できた



選手とスタッフの作業負担が軽減され、当日運営、報告書作成がスムーズに！



WEB販売のみという割り切った対応がスタッフの作業負担軽減に



試験運用を実施した勉強会では、従来の振り込みや窓口処理も行い、加えて、新しくWEB販売も行ったが戸惑いが...

大会では、基本的にはWEB販売のみで実施

- ➡ 選手申し込みと観戦チケット合わせて**780件以上あったが、問い合わせがきて振り込みで行ったのは3件のみ。**
作業量が大幅軽減できた。

一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ様



事業内容

総合型地域スポーツクラブ

導入前の課題

膨大な消込作業/作業ミスがあった

Before

膨大な消込作業/作業ミス

- 数年前までは、申込者が事前振り込みをし入金証明書コピーと申込書を合わせて郵送。
- 申込者は、コンビニで発券し当日持参し、受付でもぎるという運用も実践。
- 2021年からは、ネットで事前申込み、交通系ICカードのみで当日決済する流れに切り替え。

After

作業の大幅カット/当日対応の簡易化

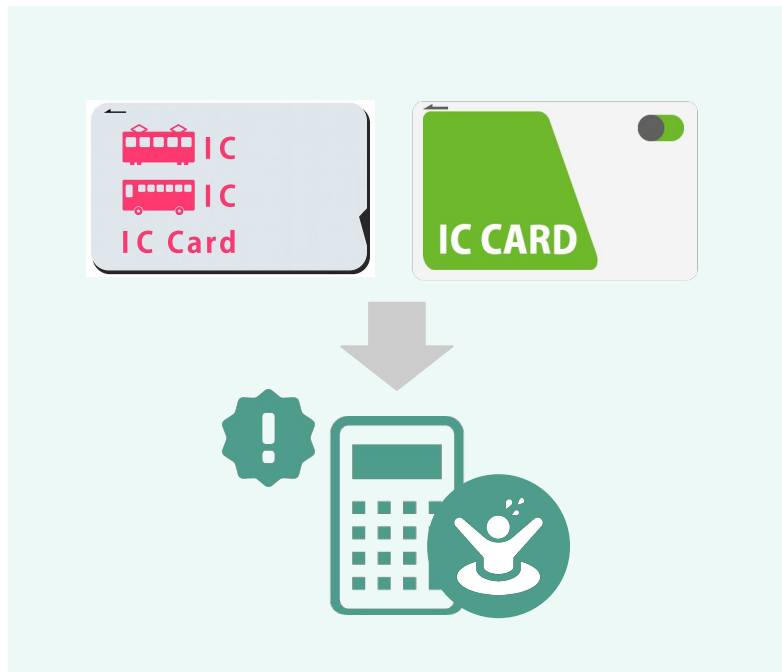
- QRコードを読み込むだけなので、受付業務がスムーズになった。
 - QRコードを印刷した紙の持参することで子どもだけでの受付も安心して行える。
- ➡ 足元の課題を解決したことでPR施策の着手へ



次は、LINE告知を活用しながらターゲットごとに情報発信にチャレンジ



交通系ICカード決済の場合の落とし穴



ネットで事前申込みをし、交通系IC
カードのみで当日決済する流れに切り替え、
リアルタイムで申込数を把握

作業効率は改善

➡ 交通系ICカード決済の場合、
受付でスタッフが金額を打ち込む際に
入力ミスが発生



LINE告知を活用しながらターゲットごとに情報発信にチャレンジ



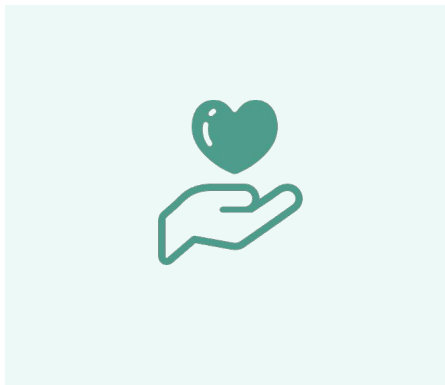
インターネットでチケット購入する際、
LINEで公式アカウントと
友だち連携する仕組みを活用

LINEで年代やターゲットを絞って告知

➡ 次回以降の購入を促していく

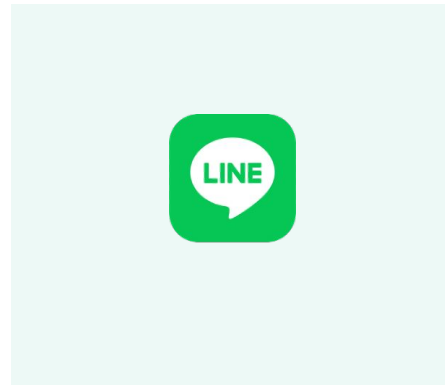
クラウド型チケットシステム導入を成功させる2つのポイント

1 / 簡単なUI



操作がしやすいUIで
トラブル回避

2 / LINE連携



多くの方が利用している
ので販促に最適

LINEで簡単に チケットの販売管理を

チケット for LINE Hybridは、
LINEで出来るクラウド型チケット
販売管理サービスです。



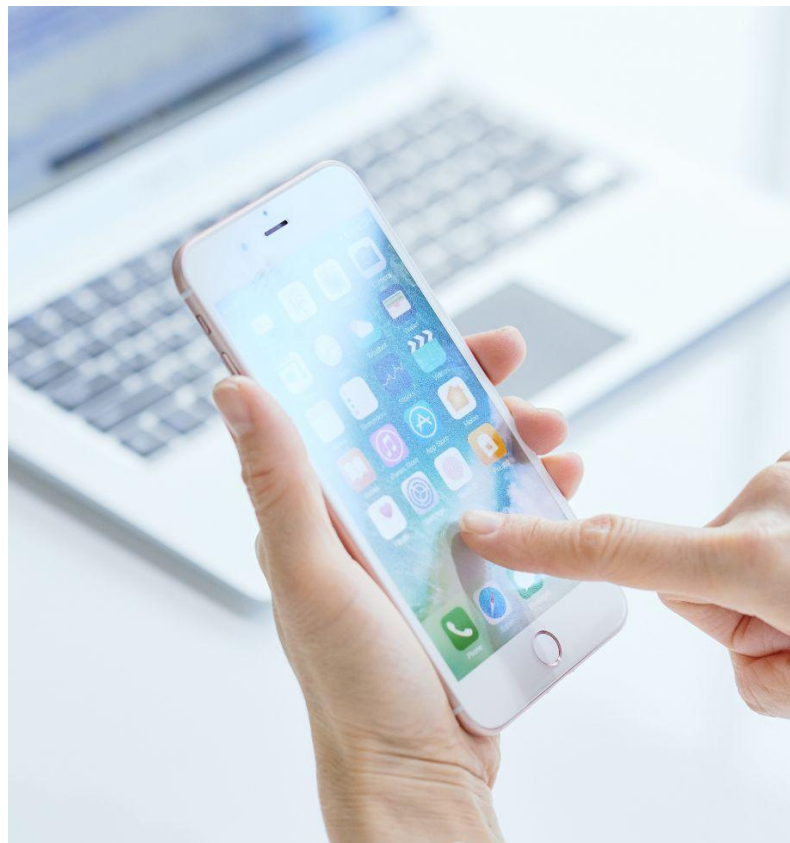
LINEと連携

LINEをUIとした
電子チケットシステム



初期導入費
月額固定費

0円



その他のお問合せ

— お気軽にご連絡ください —

電話

0120-014-110
(平日：09:00～17:00)

メール

ticket-line_inquirie
@ic-net.co.jp

当社のサービスサイトもぜひご覧ください

<https://tfl.ic-product.jp/>



会社概要

商号

株式会社IC

代表

代表取締役社長執行役員 齋藤 良二

代表取締役副社長執行役員 三澤 昇平

事業内容

情報サービス分野におけるソリューションの提供

ITソリューション

ITサービス

- ・ソフトウェア開発
- ・インフラ設計構築
- ・システム運用支援
- ・パッケージ開発/導入支援

資本金

4億7百万円（2021年9月末現在）

設立

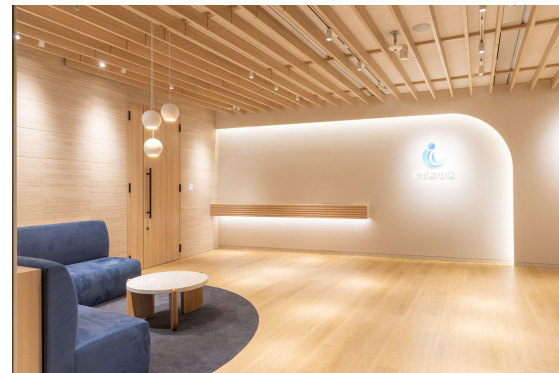
1978年2月20日

拠点

東京都港区港南2丁目15番3号 品川インターシティC棟7階

ホームページ

<https://www.ic-net.co.jp/>



END